

2022年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人くしろ・わっと
事業名	未来につながる多世代型コミュニティ拠点推進事業
課題テーマ	地域を担う人材育成・安心して暮らせる都市
事業提案の背景	大学や高校群がある市内屈指の文教地区である釧路市橋南地域で進む少子高齢化の中で、学生、子ども、高齢者の多世代がつながり交流することが出来る拠点が必要とされている事。
事業目的	①地域コミュニティ拠点「笑顔のニュータウン」での多世代交流の推進 ②高齢者の認知症予防・健康保持 ③子どもたちや子育て世代の居場所づくり
事業概要	2021年8月、釧路市大川町7-15の空き地と空き家を借用し、多世代型地域コミュニティ拠点「笑顔のニュータウン」を開設、前年度に引き続き、4月1日から翌年の2月28日迄、多世代型交流のためのイベントや健康教室、学習塾、地域食堂などを実施。
事業展開	①地域食堂・子ども食堂の開催（5回） ②認知症予防のための健康教室の開催（週1回計44回） ③無料学習塾「てらこやタウン」の開催（週1回45回） ④郷土の文化や歴史を学ぶ「地域学講座」の開催（5回） ⑤子育て世代のための「おさがり交換会」の開催（2回） ⑥「笑顔のニュータウン」1周年記念イベントの開催（8月6日） ⑦「城山秋祭り」の開催（9月24日） ⑧新型コロナ感染予防対策（通年）
成果目標の達成状況	①多世代交流による地域の活性化と安全安心なまちづくり推進 ②高齢者の健康保持・増進に寄与 ③学生・若者世代が地域貢献活動に参加
波及効果の達成状況	①市内各地域での「地域食堂・子ども食堂」の展開などの多世代間交流がすすんでいった。 ②子どもたちや学生らの風土愛を育み、釧路の未来を担う人材育成につながる効果があった。
実施体制	NPO法人くしろ・わっと、釧路市東部北地域包括支援センター、釧路教育だ い宮前ゼミ生、ふまねっと946などの市民活動団体による「笑顔のニュータウン運営委員会」とボランティア30名。
連携した市担当課	無 ・ （ 福祉 部 社会援護 ・ 室）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	・ 地域福祉分野での連携及び助言 ・ 高齢者の健康づくりや介護予防に関する教室への講師派遣

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	250,000	
	569,731	
合 計	819,731	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	127,200	イベント看板、ポスター、チラシ印刷代
使用料・賃借料	132,000	PA, テント、テーブル、イス賃借料
謝礼	20,000	地域学講師謝礼@5,000×4人
旅費	48,000	地域食堂ボランティア交通費@3,000×16人
委託料	132,000	健康教師委託料@1,000×132人分(1か月)
消耗品費	39,840	イベント用文房具類
小 計	499,040	
対象外経費		
アルバイト賃	270,000	学習支援アルバイト賃@3,000×2人×45回
食材費	50,691	地域食堂食材費
小 計	320,691	
合 計	819,731	